

第3学年 技術・家庭科(技術分野)シラバス

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習内容 (通年ですが、家庭科と隔週になります。)

題材名	題材目標	主な学習内容
双方向性のあるコンテンツによる問題解決 「計測・制御による問題解決」 「デジタル機器の活用」	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。 ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。 ・フローチャートを用いてプログラムを作成し、動かすことができる。 ・課題を解決するプログラミングができる。 ・応用ソフトウェアを用いて情報処理ができる。 ・目的に応じたソフトウェアを選択し、活用できる。 ・作品について発表することができる。 ・生活の中のマルチメディアのしくみの概要がわかり、活用することができる。 ・デジタル機器を活用することができる。 ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決 ・これからの情報の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御の理解 ・プログラムのはたらきを知る ・フローチャートの仕組みを知る ・アプリケーションソフトウェアのはたらき ・プレゼンテーションソフトの活用方法 ・マルチメディアの特徴と利用 ・デジタル機器の活用方法 ・情報の技術の振り返り ・情報の技術と私たちの未来

3 評価の方法

- (1) 授業中の取り組み
- (2) 作業中の様子
- (3) 提出物
- (4) 定期テスト

	評価の観点	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を習得している。 ・すでに習得している知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で概念として理解したり、技能を習得したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・知識や技能を用いた発表
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論述やレポートの作成、発表、話し合い、作品の制作や表現等 ・ポートフォリオ
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組もうとしている。 ・粘り強い取組を行おうとしている。自らの学習を調整しようとしている。 ※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価をします	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやレポート ・授業中の発言 ・教師による行動観察

4 授業や家庭学習について

- (1) 何事に関しても興味関心を持とう。
- (2) グループの中で積極的に発言・行動し、活発な授業を行おう。